近江路 歴史ハイキング

昨年秋、コロナ禍による自粛生活に打ち勝とうと、同窓会としてハイキングを企画してみました。まだまだ慎重な方が大勢でしたが、先陣を切って開催しました。コロナ禍の第5波がかなり収まった時期でもあったのですが、この日は感染防止対策を施して、7名が参加しました。人数は少ないと感じられるでしょうが、この時期でもあり、開催出来る事に意義がありました。ガイド役として大津市在住の林田実さん（高19回卒）にお世話いただきました。

大津市歴史博物館

大津の歴史を知るには、大津歴史博物館が最短だとガイドさんに勧められて訪れました。大津は縄文時代に人々が住み着いて以来の歴史がありますが、博物館では大津の歴史と文化の調査研究と展示が行われていて、展示内容によって常設展示と企画展、ミニ企画展と三つに分かれています。大津の歴史を解き明かす展示物の数々は興味深く、特にこの後訪れた西教寺関連は圧巻でした。西教寺を中興した真盛上人の業績と、寺宝ともいえる文化財の数々を間近で。見学することができました。

退館後、京阪電車大津市役所前駅から路面電車のような石山坂本線の2両連結列車に乗って坂本比叡山口駅までのんびりと電車旅でした。

日吉大社

駅前から日吉大社へ向かう参道は見事な紅葉の並木道でした。日吉大社は全国に380社ある日吉・日枝・山王神社の総本社です。通称山王権現とも呼ばれていて、西本宮と東本宮を中心とする40万㎡の境内は国の史跡に指定されています。境内にある鳥居は独自の形式で「山王鳥居（合掌鳥居）」と呼ばれています。かつて平安京遷都の際、この地が都の表鬼門（北東）にあたることから魔除・災難除の社として、また比叡山延暦寺の護法神として由緒ある大社です。

今回は日吉大社の大鳥居前で、右へ進路を変えて西教寺を向かいました。予報では最高気温13℃とかで、防寒対策をしっかりやってきたのですが、風もなく晩秋の日差しを受けて、最高のハイキング日和となりました。

一路西教寺を目指しましたが、途中坂本観光駐車場に静かな公園があり、そこで昼食をとりました。これもハイキングの楽しみのひとつです。

西教寺

天台真盛宗の総本山で山号が戒光山、本尊は阿弥陀如来です。開基は聖徳太子という伝承もあります。室町時代、天台真盛宗の宗祖の真盛上人が入寺してから栄えました。

元亀2年（1571）織田信長による比叡山焼討ちの際に西教寺も焼失しましたが、その後近江国滋賀郡は明智光秀に与えられ、この地に坂本城を築きます。光秀と西教寺の関係は深く、寺の復興にも光秀の援助があったものと推定されています。境内には光秀の供養塔や一族の墓があります。本坊には貯蔵品が数多くあり、建物の様式、更には庭園の素晴らしさに魅せられて、あとの行程を忘れる程でした。

西教寺から歩いた道が素晴らしい。林田ガイドさんお勧めの道で、彼が命名した「山の辺の道」は素敵なハイキングコースでした。遥か琵琶湖を眺めながら田舎道が続きます。

ここまでタイムオーバーになりました。この後は、訪れる予定だった箇所を外から眺めて、次にぜひ来ようと誓った次第です。今回は歴史を学ぶことについつい時間をかけ、力を入れた感じでしたが、それでもこの日の万歩計は2万8千を示していました。